

11月の政治・経済イベント

重要 01 米国の中間選挙

米国では11月6日に議会上院の3分の1の議席と、下院の全議席が改選される中間選挙が行われます。トランプ政権と与党共和党に対する米国民の評価を反映し、2年後の大統領選挙に向けてトランプ政権が何に重点を置いて政策を運営するかを占う上で重要な選挙となります。特に下院で共和党が過半数を維持できるかが注目されます。

重要 02 米中貿易摩擦

米中間選挙の結果は、トランプ政権の通商・外交政策にも影響を与える可能性があります。米国は9月24日に2000億米ドルの中国製品に10%の追加関税を課す措置を実施しました。来年1月からはその分の税率を25%に引き上げる計画ですが、それがそのまま実現されるのかが注目されます。11月末には米中首脳会談が予定されており、米中通商交渉に何らかの進展が見られるかが注目されます。

中国の景気対策

中国では、これまでの過剰融資の調整に加えて米中貿易摩擦悪化による輸出の鈍化により、景気鈍化懸念が強まっています。これに対し、政府、人民銀行（中央銀行）は景気下支え策に向かいつつあります。ただし、過剰融資の調整も続いているため金融緩和策の景気刺激効果は薄い上に人民元安を招きやすく、資本流出懸念が強まって中国株の下落に歯止めがかかりにくいようです。財政政策をがらめたどのような景気対策が今後発動されるかが注目されます。

11月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
2日(金)	米国 	雇用統計（10月）
5日(月)	トルコ 	消費者物価指数（10月）
6日(火)	米国 	中間選挙投票（議会上院の3分の1の議席、下院全議席の改選）
8日(木)	中国 	貿易統計（10月）
8日(木)	米国 	金融政策発表
12日頃	中国 	マネーサプライ、社会資金調達金額（10月）
14日(水)	日本 	7-9月期GDP（1次速報値）
14日(水)	中国 	鉱工業生産指数、小売売上高、固定資産投資（10月）
14日(水)	米国 	消費者物価指数（10月）
30、12月1日		G20首脳会談（米中首脳会談開催予定）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。